

聞こえない、聞こえにくい

難聴って、

何なん？



★ 難聴とは？

難聴は「見えない障害」また「コミュニケーション障害」とも言われ「聞こえにくさ」は見ただけではわかりません。

「話しことば」によって成り立っている社会生活で「聞こえにくい」ことがスムーズなコミュニケーションをさまたげています。

社会生活を送るうえで「不便さ」「生きづらさ」を抱えており聞こえる人との間に「見えない壁」があります。



公益社団法人 岡山県難聴者協会

★こんな事で困っています

音声による情報に気づけない

呼び出しや案内が聞こえないので
情報が得られない事がある



外見で気づいてもらえない

声をかけられて気づかなかった時、
無視されたと誤解されることもある



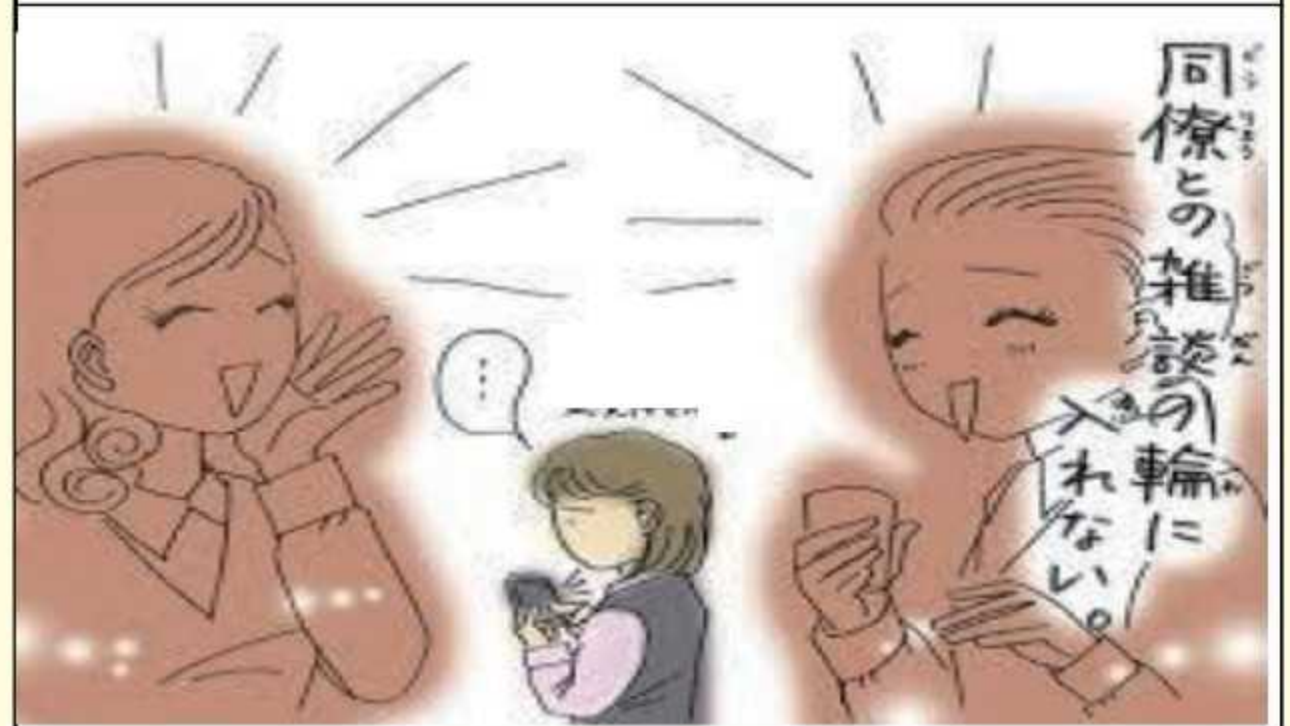
周囲の状況が分からない

危険を知らせる音が分からないため
判断が遅れる



複数での会話が難しい

1対1の会話はできても、複数の会話は言葉
としてわからないため話の輪に入れない



口元が見えないと分かりにくい

マスク越しに話されると
何を言ってるのかわからない



大きな声は聞き取りにくい

耳元で大きな声されると口の動き
表情が見えなくて聞き取れない



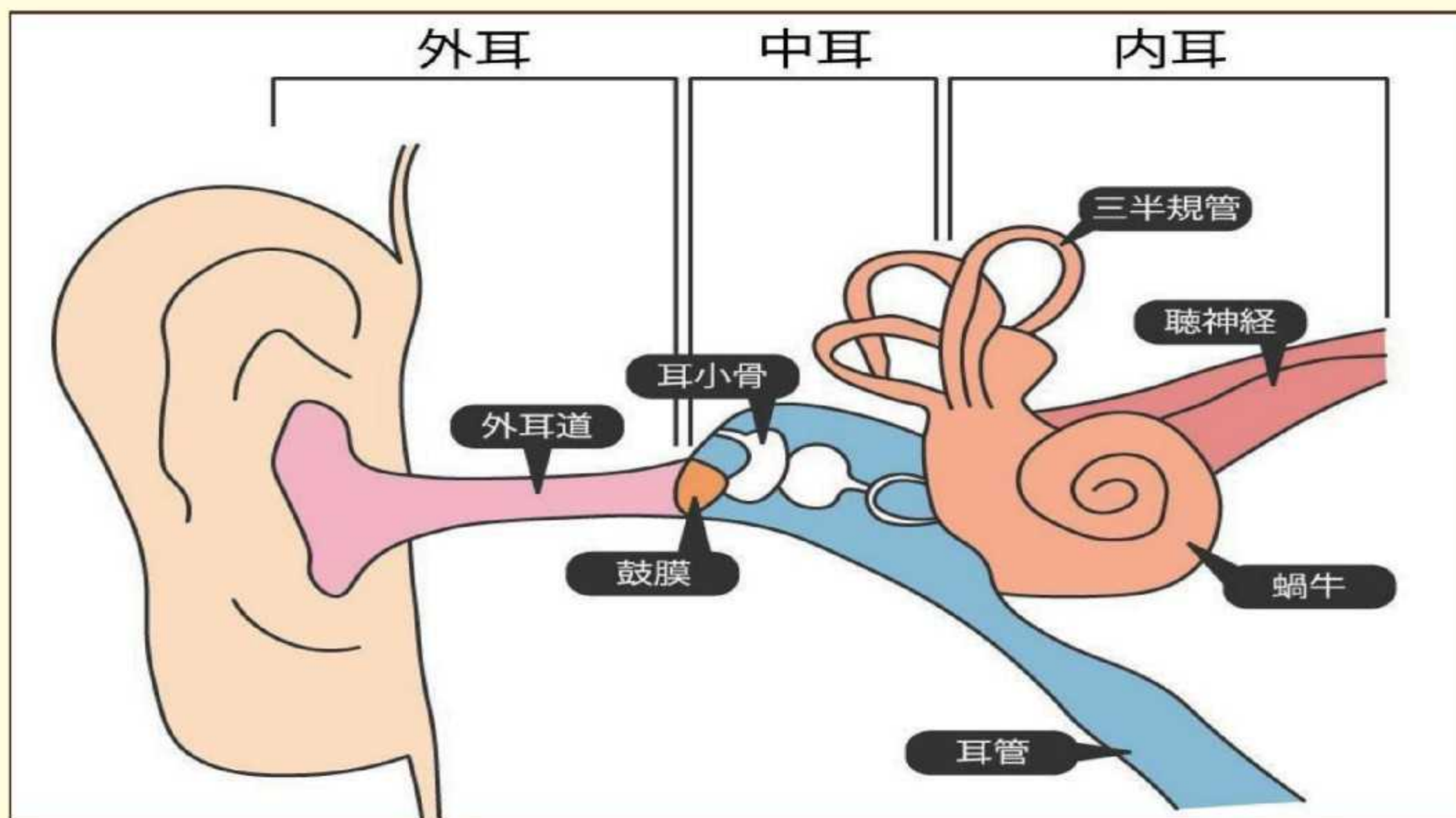
★聞こえの仕組み

難聴とは耳から脳へ音が伝わる経路に障害があるため聴力が低下する状態です。
一口に難聴といっても、種類や特徴、程度もさまざまです。

耳の構造

伝音性難聴

感音性難聴



伝音性難聴

外耳と中耳に問題が起こることによって生じる音が小さくなる難聴です。
補聴器が役に立ちます。

感音性難聴

内耳は、中耳から伝えられた振動を電気信号に変換して脳へと伝える役割があります。
内耳や神経が障害されることで起こる難聴です。

小さな音は聞こえないのに大きな音はうるさく聞こえる。声は聞こえるが言葉として聞き取りが悪くなるなどの様々な聞こえの悩みがあります。

複数の集まりの会話・講演等は補聴器が役に立ちますが、正常な聴力の人とは差があります。

混合性難聴

伝音性難聴・感音性難聴の両方の症状が現れます。

加齢性難聴（加齢性難聴の多くは感音性難聴です）

難聴の中で一番多く、治療でなおす事はできません。少しずつ進行するので気づきにくいです。
音は聞こえても言葉の聞き取りが悪くなります。放置しておくと、認知症の原因となります。

★難聴の8つの兆候

- ◎聞き返しが多くなる
- ◎耳の後ろに手を当てる
- ◎早口の言葉が聞き取りにくい
- ◎テレビの音が聞き取りにくい
- ◎周りが騒がしいと聞き取りにくい
- ◎1対1だと良く聞き取れるが、数人での会話は聞き取りにくい
- ◎聞こえていた音が聞こえない
- ◎耳鳴りがする

徐々に聞こえが悪くなってきます。自分では案外、気づかないものです。

★難聴が進むとどうなる？

- ◎音や声の刺激が入らない、入りにくい
- ◎危険の情報の察知がしづらい
- ◎注意力の低下
- ◎会話の聞き取りが低下し、コミュニケーションが困難
- ◎記憶力の低下
- ◎イライラ、憂うつ、楽しみが少ない、情緒不安定
- ◎引きこもりや社会との交流、参加の減少
- ◎認知機能への影響

★2種類の会話 私たちの会話はおおきく2つに分けられます

・情報を得るための必要な会話
(仕事の打ち合わせ
「〇時からの会議の内容は？」など)

◎難聴が進むと、最低限の
一方通行の会話になりやすい

・人間関係を作るため
どうでもいい会話
(世間話 冗談 噂話 など)

◎聞こえず「何？」と聞いても
言いなおしてはしてくれない
◎聞こえないと会話の楽しみが
なくなる




必要ないと思われる会話が

人間関係を円滑にするうえで とても大切

★補聴器

補聴器は管理医療機器です。デジタル補聴器が主流となって細かく調整できます。

種類

耳穴型		耳穴の中に収まるタイプです。小型軽量で目立ちにくく、ぴったり収まって外れにくく、マスクやメガネ、帽子の邪魔になりません。オーダーメイドタイプが一般的です。
耳かけ型		耳にかけて使うタイプで、小型タイプから重度難聴向けハイパワータイプまで種類やカラーが豊富。補聴器を使い始めたばかりの方でも比較的簡単に使いこなすことができます。
ポケット型		スイッチやボリュームが比較的大きく、操作が簡単です。マイク内蔵型では話し手に本体を向ける事で聞き取りやすくなります。

◎聞こえにくいと感じたら耳鼻科・補聴器相談医に相談のうえ、認定補聴器店の補聴器技能者の適切な調整とケアを受け自分に合った補聴器を購入しましょう

◎購入して終わりではありません。
利用者にあわせての調整とトレーニング、ケアを受けましょう

◎調整を繰り返すことでより聞こえに合った補聴器になります。
定期的なアフターケアを受ける事で安心して使えます

◎聴力の低下によって聞こえない状態に慣れた耳や脳が、「適切な音量」に順応できるようになるには時間がかかります
「うるさい」「音声は聞こえるのに言葉として認識できない」といった問題を調整しやすくなります。トレーニングが必要です

購入助成 障害者手帳を所持している方は、5年に1度、購入時に助成があります。障害者手帳の基準に満たない軽度・中度難聴の方も対象となることがあります。高齢者や18歳未満の難聴者を対象としているケースが多く、自治体によって違いがあります。 **お住まいの自治体にお問い合わせ下さい。**

集音器について

安価ですが、すべての音を大きくするだけで聞こえに応じて調整できないものが多いため、おすすめしません。



★人工内耳

補聴器で会話が困難など効果が不十分な重度難聴になると「人工内耳」があります。

耳鼻咽喉科医療機関（補聴器相談医）を受診してください。

早期発見、早期対応が大事です



★コミュニケーション手段のいろいろ

◎**手話** 「見ることば」です。簡単な手話を覚える事で会話が豊かになります。

◎**筆談** 紙などに文字を書いて伝える方法です。

◎**口話** 難聴者が相手の口の形を見て言葉を理解します。

※「ゴミとコピー」「雨と亀」など口の動きが似ている言葉は読取が難しい時がある。

◎**音声認識** 様々なアプリが出ています。音声を変換します。



★聞こえる人にもお願いです

補聴器・人工内耳を使っている人への話し方

正面を向いて話をしてください

1対1だと重度の難聴者も話を「聞き取る」ことができます。

- ◎顔を向けて話す
- ◎できるだけ静かな環境で話す
- ◎通じにくい時は、言い直し・言い換えをする
- ◎話し始める時、合図をする
- ◎ゆっくり、ハッキリ、普通の大きさの声で



聴覚に障害のある人のすべてが手話をわかっているとは限りません。

その人に合わせて、コミュニケーションの手がかりを見つける事が大切です。

★支援のいろいろ

要約筆記

聞こえないことにより音声コミュニケーションが難しい人のために話の内容をその場で文字にして伝える支援方法です。

要約筆記には、手書きとパソコンによるキーボード入力の2つの方法があります。

聴覚障害＝手話と思っている方が多いのですが、手話が分からない聴覚障害者に文字で伝える情報保障です。



ノートテイク

要約筆記を利用したい時

お住いの市町村の障害福祉課まで申込してください。

要約筆記者には守秘義務があります。



講演 会議など

コミュニケーションボード 他



耳マーク

耳マークは、耳が不自由なことを表すと同時に、聞こえない人・聞こえにくい人への配慮を求めるためのマークです。

「聞こえない・聞こえにくい」ことが相手にわかれば相手はそれなりに気遣ってくださいます。

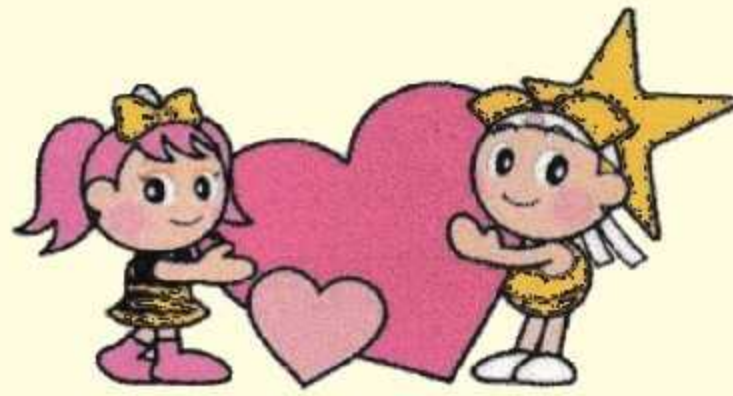
「耳が不自由です」という自己表示が必要ということで、考案されたものです。

「口元を見せて、ゆっくり・ハッキリ話す」「筆談をする」「手話をする」などの配慮をお願いします。

マーク活用事例

自治体をはじめ民間企業、団体で活用されています。最近の事例では、コンビニ・スーパー等のレジ、JR 券売機でも広まっています。





©岡山県「ももっち・うらっち」

監修 岡山大学病院聴覚支援センター

協力 岡山県 公益社団法人岡山県医師会 日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会岡山県地方部会

岡山県耳鼻咽喉科医会福祉医療委員会 岡山県聴覚障害者センター

全日本難聴者・中途失聴者団体連合会 岡山県要約筆記団体連絡会

発行 公益社団法人 岡山県難聴者協会

令和7年1月

お問い合わせ

公益社団法人 岡山県難聴者協会 事務局

〒700-0807 岡山市北区南方2-13-1

岡山県総合福祉・ボランティア・NPO会館（きらめきプラザ）4F

FAX：086-224-2243 Eメール：okanankyo@kirameki-plz.com



ホームページ

<http://www.okanankyo.org/>

※橋本財団様の助成により発行しました。